

## 東京学芸大学附属小金井小学校「演劇 WS」学習指導略案

1. 学 年 第 5 学年 8:50-9:35/9:35-10:20

2. 教 材 名 演劇ワークショップ

3. 主 題 自然愛護

4. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自然愛護は「自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること」とある。児童の実態

5. 本時のねらい

紙芝居「かいくんのさがしもの」の読み聞かせによって、物語の登場人物であるかい君と一緒に児童も自然と出会い、擬似体験をし、海中生物や自然の偉大さに興味を持つきっかけの一つとなりたい  
登場人物である「かい君」という他者が「自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしていこうとする」気持ちを物語の中で育んでいく様子を児童が見守ることにより、内容項目について今一度考えられる時間になりたい。

6. 本時の展開

	学習活動	主な展開、発問など	指導上の留意点
導 入	自己紹介	簡単な自己紹介	
展 開 前 段	「かいくんのさがしもの」読み聞かせ	カメとイカは先生に読んでもらう。	パワーポイントを使って、上演をする。 カメとイカのセリフは教員の先生に読んでもらう。
展 開 中 段	感想を書く  班に分かれて、「海に関するクイズ」を考	※例  「ウミガメはなんで涙を流すのでしょうか？」  「タコの雄と雌の見分け方は？」	

	えて、出演者に出題する		
休憩			
展開後半	ジェスチャークイズ	「ちがう」と「わからない」を楽しむゲームです。 ・おふろ ・つり ・もちつき など	お互いの存在を承認し、他者と違うことが許される安心・安全な場作り
展開終盤	紙芝居を作ろう 「みんなが海の生物になって海中で他の生物と出会っていたら・・・？」	紙芝居のイラストになりそうな場面を班ごとにつくってもらおう。  ※例 「タコに雄と雌の見分け方を教えてもらってる場面」	クイズのお題を元に場所やシチュエーションを決められたら良いですが
まとめ	授業のふりかえり		